



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

6月園だより

令和2年6月1日
June 1, 2020
園長 河合 晴美
Principal
Harumi Kawai



はじめの一步から

園長 河合 晴美

6月に学校再開という嬉しい知らせが入り、幼稚園にまた、子どもたちが戻ってくることを教職員一同、心待ちにして過ごしてまいりました。保護者の皆さまも、まずは、ひと安心していただけたらと思います。臨時休業中は、先の見えぬ長い日々でしたが、幼稚園のホームページや MINATO×TEACHERS CHANNELSの動画等をご覧いただき、感想を寄せていただいたことは、私たちにとって励みとなり、お子さんや保護者の皆さまとつながりをもちながら過ごすことができました。ありがとうございました。これからは、再開と同時に、感染症対策をしながらの日々となります。改めて、皆さまの御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、新しいメンバーが加わった本園の教員による、園内研究は、「自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子どもの育成 ～明日につながる保育の環境構成～」が主題となっています。園内研究は、教育活動を考え、実践しながら、よりよい指導に向けて協議を重ねていく研修です。「明日につながる保育」という言葉を合言葉に、今日一日をどのように過ごしたか、子どもたちの言葉や動き、表情をとらえることができたか、そして、そこで何を思っていたのか・・・等と振り返り、教師が子どもに寄り添うことで見えてきたものを省察する行為を重要視していきます。そして、その過程で見えてきたことや子どもたちの思いを明日につなげ、さらに楽しく充実した一日になるように、保育室や園庭の環境、教師の言葉や動き、教材等を検討していきます。その結果、日々の生活の中で見られた成長は、保護者の皆さまと喜びを共有し、時に、幼児にとって乗り越えたい状況があるならば、保護者の皆さまと共にお子さんを支えていきたいと思えます。

当面の教育活動は、分散登園という形になりますので、少人数での保育から始めます。教職員一同で登園した子どもたちの様子を見守りながら、子どもたちと安定した生活をつくっていきます。

また、新たな試みとなる「連絡帳」も活用しながら、保護者の方とお子さんの様子を共有したいと思います。

保育は、子ども理解に始まり、子ども理解に終わると言われています。その子自身を受容し、子どもの今ある「心もち」を大切に、接していきたいと思えます。そして、子どもたちが見ている世界を共に見ながら、子どもたちとの「実におもしろくてすばらしい・・・そして尊い一日」を大切にしていきたいと思います。

令和2年度の教育活動が始まります。まずは、保護者の皆さまと一緒に、始業式、入園式という一歩から、どうぞよろしくお願いいたします。



<園庭のユズラウメ>



